

(2012年度)

5 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は18ページ，4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 携帯電話・PHSの電源は切ること。
3. 試験開始前に，監督から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号かどうかを確認し，氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机の上に置くこと。
4. 監督から試験開始の合図があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっているかどうか確かめること。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能などを使用してはならない。
7. マークをするとき，枠からはみ出したり，枠のなかに白い部分を残したり，文字や番号，枠などに○や×をつけたりしてはならない。
8. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。採点が不可能になる。
10. 試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1

設問 I 次の文章(A～H)を読んで、後の問(1, 2)に答えなさい。答は選択肢(a～d)からもっともふさわしいものを1つ選び、正解がない場合はeをマークしなさい。

- A 朝鮮王朝第4代国王 は、官制の整備や農業の振興、領土の拡大等内外面で実績を残した。特に庶民を教化するために独自の文字を作らせ、訓民正音の名で公布した。
- B 国王 の父である大院君李昰応は、実権を握って華夷思想にもとづく中央集権体制を強化し、 を邪教とみなして大規模な弾圧をおこなった。
- C 日本の二度にわたる侵略を、義兵や李舜臣率いる水軍の活躍などによってしりぞけたが、朝鮮のこうむった被害は甚大であった。この事件を朝鮮では、 ・丁酉倭乱と呼ぶ。
- D 全琫準らが、不正役人の罷免や税の軽減などを求めて挙兵し、各地に農民反乱が広がった。この反乱を 農民戦争と呼ぶこともある。
- E 国号を後金から清にあらためた は、翌年には、みずから軍をひきいて朝鮮に侵攻して朝鮮の国王仁祖を服属させた。
- F 金玉均らの開化派が、日本にならって朝鮮の改革をめざし、クーデタをおこなったが、結局失敗し、金玉均は日本に亡命した。この事件を 政変と呼ぶ。
- G 没落両班出身の が、在来の民間信仰をもとに、キリスト教勢力を排除しようとして、儒・仏・道三教をまじえて東学を創始した。

H 日本公使の三浦梧楼らは、宮中に乱入して国王 9 の妃で、反日派の中心とみなされていた閔妃(明成皇后)を殺害した。これを契機に反日運動が激化し、朝鮮における 10 の影響力が強まった。

問1 空欄(1~10)に入るべき語は、それぞれ何か。

- | | | | | |
|----|---------|-------|-------|-------|
| 1 | a 世宗 | b 純祖 | c 世祖 | d 太宗 |
| 2 | a 太祖 | b 太宗 | c 世祖 | d 高宗 |
| 3 | a キリスト教 | b 仏教 | c 道教 | d 儒教 |
| 4 | a 戊申 | b 壬申 | c 壬午 | d 甲申 |
| 5 | a 庚午 | b 甲申 | c 甲午 | d 壬午 |
| 6 | a 太祖 | b 高宗 | c 成祖 | d 太宗 |
| 7 | a 甲子 | b 壬午 | c 甲午 | d 乙未 |
| 8 | a 洪景来 | b 丁若鏞 | c 洪秀全 | d 崔濟愚 |
| 9 | a 高宗 | b 太宗 | c 世祖 | d 正祖 |
| 10 | a アメリカ | b ロシア | c ドイツ | d 清 |

問2 文章(A~H)それぞれにかかわる設問(1~8)に答えなさい。

- 1 訓民正音が、ハングル(偉大な文字)と呼ばれるようになったのはいつのこととされるか。(文章A)
a 1446年ころ b 1592年ころ c 1811年ころ
d 1948年ころ
- 2 大院君李昰応が朝鮮王朝の実権を握った時に、当時の中国の王朝でおこっていたことは何か。(文章B)
a アヘン戦争 b 太平天国の乱 c 清仏戦争
d 義和団事件
- 3 日本の侵略に対して、朝鮮に援軍を送った当時の中国の皇帝は誰か。(文章C)
a 英宗 b 神宗 c 成祖 d 毅宗

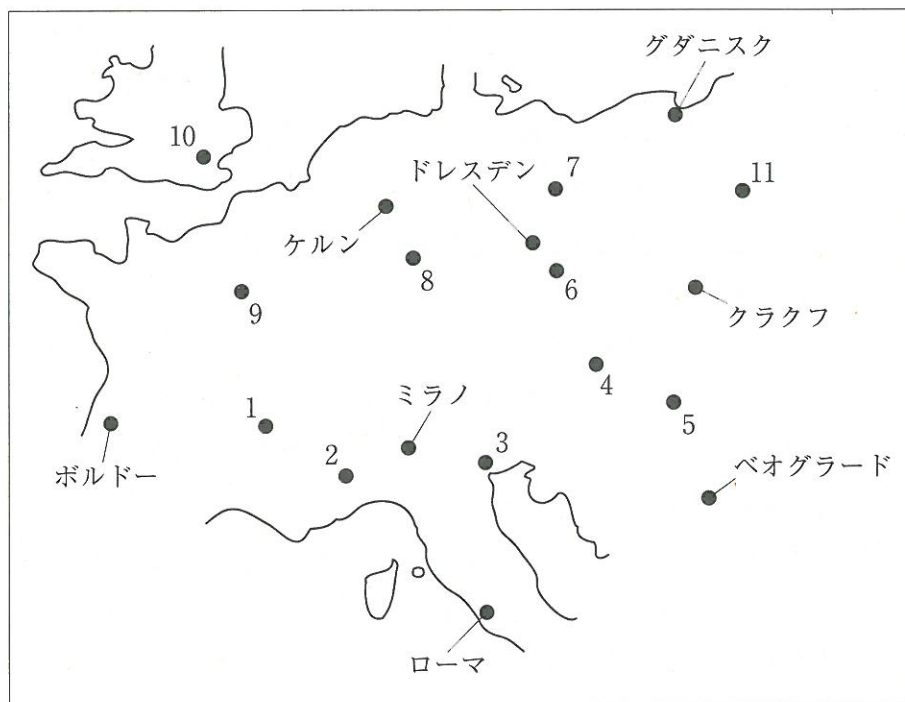
- 4 全瑋準らの挙兵が発端となっておきたことは何か。(文章D)
- a 江華島事件 b 日露戦争 c 日清戦争
d ハーグ密使事件
- 5 朝鮮の国王仁祖が、清に服属したのは何年(西暦)のことか。(文章E)
- a 1616年 b 1637年 c 1644年 d 1673年
- 6 開化派のクーデタは、どのような事件に乗じておこされたものか。(文章F)
- a 清仏戦争 b 三国干渉 c 日露戦争 d 義和団事件
- 7 東学が創始されたのはいつのことか。(文章G)
- a 1770年ころ b 1810年ころ c 1860年ころ
d 1890年ころ
- 8 閔妃(明成皇后)が殺害されたのは、何年(西暦)のことか。(文章H)
- a 1882年 b 1884年 c 1895年 d 1898年

設問Ⅱ 次の短文(ア～キ)は、いずれも1848年におきたことがらである。それぞれ地図上の都市(1～11)のどこでおきたものか。選択肢(a～f)から正しいものを1つ選びなさい。

- ア マルクスとエンゲルスが、『共産党宣言』を発表した。
- イ スラヴ人の結束と自立を目的としたスラヴ民族会議が開かれた。
- ウ 自由と憲法を求める学生と市民らが蜂起し、メッテルニヒを失脚させた。
- エ ギゾー内閣が改革宴会を禁止すると、暴動が発生して、ギゾーは辞職においこまれた。
- オ ドイツ連邦の各邦から普通選挙で選ばれた議員によって、国民会議が開かれた。
- カ コシュートが、憲法の改正と責任内閣制の実施をオーストリアに要求して実現させた。

キ 首都で反乱が起こり、プロイセン国王は憲法を審議するための国民議会の設置を約束した。

ア	a	1	b	2	c	3	d	6	e	8	f	10
イ	a	3	b	4	c	5	d	6	e	7	f	8
ウ	a	4	b	5	c	6	d	7	e	8	f	10
エ	a	1	b	2	c	6	d	8	e	9	f	11
オ	a	3	b	4	c	5	d	6	e	7	f	8
カ	a	2	b	4	c	5	d	6	e	7	f	8
キ	a	4	b	5	c	6	d	7	e	8	f	11



- 2 次の文章(A・B群)を読み、文中の空欄(1～19)および下線部(ア～カ)について、空欄には適切な語句を選び、下線部にはそれぞれに該当する設問に解答しなさい。解答はそれぞれの選択肢(a～d)から1つ選び答えなさい。

A

1792年イギリスから交易拡大の使命を託されて中国に派遣された(1)は、時の皇帝(2)を熱河の離宮に訪ね、新たに広州以外の開港、自由貿易協定等を求めた。しかし、皇帝は貿易を(3)と見る朝貢貿易の立場を崩さず、イギリスの要求を一蹴した。その23年後、同じく貿易改定の使命を帯びて北京を訪れた使節は、時の皇帝(4)との謁見を求めたが、清側は三跪九(5)の儀礼を求めたため、謁見すら実現しないで終わった。近代的西欧諸国と伝統的中国王朝の間には、貿易に関する諸々の案件以前に、この儀礼問題が大きな壁として立ちだかったのである。当時の中国には対等な交渉の慣習が欠けていたばかりか、そもそもその種の交渉機関、今日で言えば外務省、経済産業省などすら存在していなかった。朝貢貿易に関することであれば、(6)の扱いとなり、雍正帝^(ア)時代ロシアとモンゴル方面での国境画定や国境での交易場設置等を交渉した場合には、理藩院で取り扱うという具合であった。

この外交・通商交渉の専門的役所がないこと、欧米と対等に交渉をする慣行・ルールに欠けたことが、欧米諸国の強い非難を招いて紛争の一因となった例は少なくない。しかし一方、欧米側はその儀礼問題を逆手に、まだ農業経済に基礎を置き自給自足的生活様式を色濃く残した中国を、資本主義的経済のシステムに半ば強制的に結合して行った。悪名高きアヘン戦争の原因を遡ってみれば周知のアヘン密貿易の問題に行き着く。当時世界の工場を自負したイギリスは自国産業の主力製品(7)を人口最多の中国に売り込み、中国からその特産の(8)を購入しようとしたのであるが、当時の中国では(7)の需要が無いかごく僅かであったため、巨額の(9)が中国に流出した。英側がその対策として始めたのがアヘン密貿易であった。世界の最先進工業国を自認するイギリスは、人道に反するアヘンを(10)経由で中国に送り、その(10)には(7)の購入を強制するという、独特な三角貿易で巨額の利潤をあげていた。

イギリスは欽差大臣林則徐のアヘン厳禁策に戦争で対抗したのである。戦争の結果林則徐は更迭され、広州以外に新たに4港が開港され、特権を与えられて朝貢的貿易を支配していた(11)は解散され、自由貿易の開始が合意された。しかるにイギリスは戦勝の余勢を駆って、東洋貿易の拠点として香港の割譲を求め一方、アヘンの密輸は放置し、通商協定では中国側が関税を自由に設定する権利を奪い、各種駐在員の自由を確保する口実のもと、開港場等で中国の主権が及ばない居住地の租借と領事裁判権を獲得した。この趨勢はいわゆるアロー号戦争まで続き、欧米列強は嵩にかかって清を攻め立て、首都を占領し、アヘン貿易を合法化し、キリスト教布教を公認させるなどした。その攻勢にたまりかねた清は対外交渉窓口を応急に設置することになるが、それに対応してそれまでの夷務に替わり(12)務の時代が幕開けとなる。しかし、この時にはすでに、中国は不平等条約と総称される過酷な代償を背負わされていた。

空欄(1～12)にあてはまる適切な語句を選びなさい。

- (1) a ブーヴェ b マカートニー c アマースト
d プラノ = カルピニ
- (2) a 乾隆帝 b 康熙帝 c 咸豊帝 d 嘉慶帝
- (3) a 救済 b 恩恵 c 搾取 d 代償
- (4) a 乾隆帝 b 康熙帝 c 咸豊帝 d 嘉慶帝
- (5) a 屹立 b 敬礼 c 叩頭 d 会釈
- (6) a 戸部 b 礼部 c 門下省 d 御史台
- (7) a 綿織物 b 毛織物 c 蒸気機関 d 機械
- (8) a 葉煙草 b 大豆 c 茶 d 掛け軸
- (9) a ポンド紙幣 b 銅貨 c 金 d 銀
- (10) a インド b セイロン島 c マラッカ d ペルシア
- (11) a 市舶司 b 公行 c 会館 d 東インド会社
- (12) a 商 b 辺 c 洋 d 防

下線部(ア～ウ)に関する設問に答えなさい。

(ア) これに関する条約を次から選びなさい。

- a イリ条約 b キャフタ条約 c アイグン条約
d ネルチンスク条約

(イ) 虎門寨追加条約で定められた関税率を次から選びなさい。

- a 0% b 3% c 5% d 10%

(ウ) この対外交渉窓口の初代主席となった人物を次から選びなさい。

- a 左宗棠 b 李鴻章 c 曾国藩 d 恭親王

B

1911年辛亥革命が勃発し、中華民国が誕生するが、中国史上最初のこの近代共和国は試行錯誤の繰り返しであった。そもそも辛亥革命の淵源を辿れば、おそらく康有為らの変法運動に行き着く。それは義和団事件を経て(13)なる名のもとに復活した。その(13)は憲法の制定、議会の開設、科挙の廃止と近代的学校制度の創設、地方自治、商工業の振興などからなった。その基本的性格は一般に立憲改革と総称されるが、当時の清ではその改革の手本を日本明治維新に求めた。

20世紀の初め、この一連の改革が緒に就くことで、辛亥革命の基本的要件が備わるのであるが、その限りでは反満・共和などは絶対条件であった訳ではない。ここでもう一つ考慮すべきは、満州王朝の集権制度と(14)を母体とする漢民族地域自治との微妙な距離関係であった。(13)施行のかなり後半までは、満州朝廷と漢族(14)自治とは利害を共有し、政治的協調関係にあった。しかし、1911年5月清政府が鉄道国有令を發布するに及んで、まずは(15)省を皮切りに反旗が次々揚がり、年末までには華中・華南を中心に、過半の省が清政府からの独立を宣言し、翌年1月各省代表は南京に会し、中華民国臨時政府の樹立を宣言するに至る。これが中華民国の原形であり、したがってそれは各省の独立趨勢の上に共和国中央政府が築かれるという、いわば集権と地域分権との二つの政治力学が拮抗する微妙なバランスにより構成されていた。その首都を南京から北京に移した袁世凱は、(16)年制定の臨時約法を改定し、大統領権限の強化

に乗り出し、さらには自ら皇帝に就任しようと画策したが、省自治の趨勢を転換することはできなかった。

その省の実権を掌握したのは、都督・督軍などと呼称された地方軍の司令官で、彼らは立法府の(17)や行政機関を巧みに操り、軍閥と呼ばれた独裁体制を構築した。各省に複数の軍閥が並立することもあり、また幾つかの省軍閥が連合する場合もあり、曹錕・呉佩孚らを代表とする(18)派は長江流域一帯を拠点としたことでよく知られる。1919年の五四運動に際し、それまで北京政府で政権を掌握してきた(19)派が、親日的とみなされて国民の反感をうけた機会に、(18)派は(19)派を破って台頭したのである。これら軍閥による絶え間ない抗争により、北京の中華民国政府はあたかも有名無実の観を呈する一時期もあったが、五四運動を機に次第に台頭した中国国民党・中国共産党の二大革命政党が、折からの民族主義の高まりに乗って勢力を拡大し、新たに広州に国民政府を創設するに至る。この国民政府のもと、しだいに集権化が進められたが、その一つの区切りとも言うべき事件が奉天事件であり、張学良の国民政府支持とそれへの恭順であった。

空欄(13~19)にあてはまる適切な語句を選びなさい。

- (13) a 新政 b 維新 c 訓政 d 憲政
(14) a 県 b 郡 c 道 d 省
(15) a 広東 b 湖南 c 四川 d 江蘇
(16) a 1911 b 1912 c 1913 d 1914
(17) a 省議会 b 参議院 c 枢密院 d 都察院
(18) a 奉天 b 西南 c 安徽 d 直隸
(19) a 奉天 b 西南 c 安徽 d 直隸

下線部(エ~カ)に関する設問に答えなさい。

- (エ) 初代委員長を次から選びなさい。
a 陳独秀 b 李大釗 c 蔡元培 d 汪兆銘

(オ) その創設年を次から選びなさい。

a 1924年 b 1925年 c 1927年 d 1928年

(カ) それが行われた年を次から選びなさい。

a 1927年 b 1928年 c 1930年 d 1931年

3

次の文章(A～D)を読んで、後の問(1, 2)に答えなさい。解答は選択肢(a～d)からもっともふさわしいものを1つ選びなさい。

A 17世紀末に即位したピョートル大帝は、砲術や造船術などの技術の導入を進め、ロシアの改革をはかった。⁽¹⁷⁾そのほか、オスマン帝国を圧迫して、(1)に進出した。また、デンマーク・ポーランドと結んで、(2)と戦い、最終的にロシアは勝利した。⁽¹⁸⁾その結果結ばれた(3)条約で、ロシアはバルト海東岸の地を獲得し、バルト海への進出を果たした。このあいだに建設が始まり(4)年に首都となったのが、サンクト＝ペテルブルクである。このころ、ピョートル1世に仕えた⁽¹⁹⁾(5)はカムチャツカの探検を行った。

B 18世紀後半に即位したエカチェリーナ2世は、啓蒙思想の影響を受け、ロシアの近代化に努力した。⁽²⁰⁾一方、プガチョフの乱が起こると、それを鎮圧し、(6)を強化した。⁽²¹⁾対外的には、南方ではオスマン帝国と戦った。オスマン帝国はロシアに敗北し、(7)条約によって(8)国への支配権を奪われ、ロシアは(9)に進出した。東方では、ラクスマンを(10)に派遣し、通商を求めたが、拒否された。西方では、ポーランド分割を進めた。

C ポーランドでは(11)年に、選挙王制が実施されたが、国内の貴族の対立が外国の干渉を招いた。⁽²²⁾18世紀後半に、ポーランド分割が3回にわけて行われた。⁽²³⁾第1回目はプロイセン・(12)・ロシアによって行われ、各国の国境に近い領土を奪った。これに対し、ポーランドでは、憲法制定など国内改革が実施された。しかし、プロイセンとロシアは、第2回目の分割を進めた。分割に

反対したコシューシコ⁽²⁴⁾がポーランド分割反対闘争を指揮したが、失敗に終わった。そして第3回目の分割が行われ、ポーランド国家が外国支配のもとにおかれることになった。

D かねてより南下政策を進めてきたロシアであったが、ロシア・イギリス・(13)が東地中海への進出を狙ってギリシア独立戦争に介入した。1829年、(14)条約が締結され、オスマン帝国はロシアに黒海北岸を割譲し、ギリシアの独立を承認した。1830年の(15)会議で列国がギリシアの完全独立を承認した。ギリシアの独立を援助した(16)は、国内ではデカブリストの乱⁽²⁵⁾を鎮圧した。

問1 空欄(1~16)に入るのもっともふさわしい語は、それぞれ何か。

- (1) a アゾフ海 b オホーツク海 c 外興安嶺 d アラル海
- (2) a ノルウェー b エストニア c フィンランド
d スウェーデン
- (3) a ラシュタット b ユトレヒト c カルロヴィッツ
d ニスタット
- (4) a 1700 b 1712 c 1714 d 1762
- (5) a ベーリング b ムラヴィヨフ c ステンカ=ラージン
d ウィッテ
- (6) a 農奴制 b 囲い込み c 大農場制度 d 農地改革
- (7) a アイグン b キャフタ c キュチュク=カイナルジ
d カトー=カンブレジ
- (8) a イル=ハン b アストラハン=ハン c クリム=ハン
d カラ=ハン
- (9) a アドリア海 b カスピ海 c 黒海 d 紅海
- (10) a 浦賀 b 根室 c 樺太 d 下関
- (11) a 1543 b 1547 c 1572 d 1582
- (12) a ノルウェー b オーストリア c ドイツ d フランス

- (13) a フランス b ドイツ c オーストリア d アメリカ
- (14) a サン＝ステファノ b イリ c ピレネー
d アドリアノーブル
- (15) a ローザンヌ b ロンドン c ダンバートン＝オークス
d バンドン
- (16) a アレクサンドル1世 b アレクサンドル2世
c ニコライ1世 d ニコライ2世

問2 下線部(17～25)にそれぞれ対応する設問(17～25)に答えなさい。

- (17) ピョートル大帝が即位した年はいつか。
a 1682 b 1683 c 1685 d 1689
- (18) この戦いが始まった年はいつか。
a 1700 b 1721 c 1740 d 1748
- (19) この新首都はソ連時代にどのようによばれたか。
a スターリングラード b レニングラード
c ヴォルゴグラード d モスクワ
- (20) エカチェリーナ2世が文通も行い、大きな影響をうけた思想家は誰か。
a ロック b ボッシュエ c テュルゴー d ヴォルテール
- (21) プガチョフの乱を題材に『大尉の娘』を書いたのは誰か。
a プーシキン b ゴーゴリ c チェーホフ
d トゥルゲーネフ
- (22) 選挙王制期に強い政治力をもった領主・小貴族はどれか。
a シュラフタ b アルプケルケ c カティプーナン
d クリオーリョ
- (23) 3回のポーランド分割が行われた年の組み合わせはどれか。
a 1772・1793・1795 b 1772・1795・1797
c 1771・1795・1797 d 1771・1793・1797

- (24) コシューシコが参加した戦いはどれか。
- a アメリカ独立戦争 b カーナティック戦争
c フレンチ=インディアン戦争 d イギリス=オランダ戦争
- (25) デカブリストの乱の背景にある要求にあてはまらないのはどれか。
- a 憲法制定 b 領土拡大 c 農奴解放
d ツァーリズム廃止

4 次の文章を読んで、後の問(1～16)に答えなさい。なお、問(2～16)は、問1において空欄(1～10)が補充されたことを前提にした設問である。

現在われわれが国際法と考える法は、16～17世紀のヨーロッパにその歴史的起源をもつといわれる。この時期には、中世のキリスト教的統一世界が崩壊し、近代の(1)国家体制が成立するようになる。1648年の(2)は、神聖ローマ皇帝とローマ教皇の権威を否定し、(1)国家を中心とする国家体制の形成を決定的なものにした。このヨーロッパの国家体制を基礎として、国際法は徐々に形をととのえていったのである。

国際法は、諸国家の実行と学者の理論づけの相互作用として発展してきたといえることができる。国際法の創世期に重要な役割をはたしたのが、(3)をはじめとする法学者であった。彼は、(4)の基礎のうえに、国家として当然守らなければならない国際法の存在をはじめて体系的に示したのである。当時のヨーロッパ諸国は、海外貿易をめぐる厳しく対立しており、相互の間に最低限の秩序をもたらすルールを必要としていたため、彼のような法学者のよびかけを媒介として、国際法は、ひとつの法秩序としての体系をととのえていった。

国際法は、ながらく、戦争を違法としていなかった。ヨーロッパの諸国が、原料や市場を求める闘争において、戦争を不可欠の生存条件としていたからである。戦争に訴えることは、(1)のもっとも重要な属性とされていた。しかし、二度の世界大戦などを経験し、近代兵器のもとにおける戦争が、戦勝国にとってさえ戦後の繁栄を約束するものではなく、世界の秩序に壊滅的破綻をもた

らしかねないと認識されると、国際法においても、戦争の違法化がはかれるようになる。

戦争の違法化は、(5)の発効とともに1920年に発足した国際連盟の規約においても不十分ながら定められていた。1928年の(6)がこれを補うことになり、国際紛争の解決のために戦争に訴えることを禁止した。1945年に成立した国際連合の(7)になると、その第2条第3項が、国際紛争を平和的手段によって解決することを義務づけるとともに、同条第4項が、国際関係における武力の行使と武力による威嚇を禁止した。後者の武力行使禁止原則は、戦争だけでなく武力を用いた復讐や干渉をも禁止するものと理解され、(7)上の禁止にとどまらず、すべての国家を拘束する一般的な国際法原則と理解されるようになった。(7)のもとで武力の行使が許されるのは、自衛権の発動と国際連合自身による強制措置の場合だけである。

かくして、個別の国家が、その独自の判断により武力を行使できるのは自衛権に基づく場合だけと考えられるようになった。自衛権について、国際連合(7)第51条は、「この(7)のいかなる規定も、国際連合加盟国に対して武力攻撃が発生した場合には、(8)が国際の平和及び安全の維持に必要な措置をとるまでの間、個別的又は集団的自衛の固有の権利を害するものではない」と定める。この規定との関係で、見解が厳しく対立しているのが、いわゆる先制的自衛権の問題である。先制的自衛権に否定的立場は、武力攻撃が発生するまでは自衛権を行使できないとする。

この問題に大きな一石を投じたのが、米国のいわゆる先制行動論である。米国が、2001年9月11日の同時多発テロという衝撃的事件を経験すると、(9)大統領は、2002年の「アメリカ合衆国の国家安全保障戦略」においてこの理論を主張した。その後、同大統領は、2003年の(10)において先制行動論を実行に移したといわれる。このような米国の主張に対しては、たとえば、2003年の国際連合総会において、アナン事務総長により、一方的で違法な武力行使の拡散につながりかねないという懸念が表明された。

問1 空欄(1~10)に入るもっとも適切なものを選択肢(a~e)から1つ選びなさい。

- (1) a 主権 b 全体 c 封建 d 民主 e 連邦
- (2) a ウェストファリア条約 b サラゴサ条約 c セーヴル条約
d ユエ条約 e ローザンヌ条約
- (3) a キケロ b グロティウス c ホッブズ
d モンテスキュー e ユスティニアヌス
- (4) a 教会法 b 自然法 c 重商主義 d 唯物史観
e ローマ法
- (5) a イーデン条約 b ヴェルサイユ条約 c ベルリン条約
d ラパロ条約 e ロカルノ条約
- (6) a 海軍軍縮条約 b 四カ国条約 c 九カ国条約
d 不戦条約 e ラテラノ条約
- (7) a 議定書 b 協定 c 協約 d 憲章 e 条約
- (8) a 安全保障理事会 b 経済社会理事会 c 事務局
d 信託統治理事会 e 総会
- (9) a カーター b クリントン c ニクソン d ブッシュ
e レーガン
- (10) a アフガン戦争 b イラク戦争 c ベトナム戦争
d ブール戦争 e 湾岸戦争

問2 空欄(1)の理論的基礎を提供した16世紀の学者を選択肢(a~e)から1つ選びなさい。

- a カント b パスカル c ボーダン d ヘーゲル
e ルソー

問3 空欄(2)によって終結をむかえた戦争を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 北方戦争
- b 七年戦争
- c 三十年戦争
- d 百年戦争
- e ユグノー戦争

問4 空欄(2)によって終結をむかえた戦争の性格を表すものとしてもっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 近代戦争
- b 宗教戦争
- c 植民地戦争
- d 独立戦争
- e 予防戦争

問5 空欄(3)の人物の代表的著作を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 『戦争と平和の法』
- b 『国家論』
- c 『法の精神』
- d 『リヴァイアサン』
- e 『ローマ法大全』

問6 空欄(4)の説明としてもっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 国民の共通の福祉に貢献するものと考えられていた。
- b 国家の経済的利益を最大化するものと考えられていた。
- c すべての人類に普遍的に妥当するものと考えられていた。
- d 制定とか慣習とか判決とかの人為により生成するものと考えられていた。
- e 民族の歴史的産物と考えられていた。

問7 空欄(4)を基礎として17世紀にイギリスを中心に展開した理論を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 観念論
- b 実存主義
- c 社会契約説
- d 自由放任主義
- e 弁証法

問8 空欄(5)の説明として適切でないものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a アルザス・ロレーヌをフランスへ返還させた。
- b ドイツとその同盟国に莫大な賠償金を課した。
- c ドイツはすべての植民地を失うことになった。
- d 米国大統領ウィルソンの十四カ条が基礎となった。
- e ロココ式の宮殿において調印式が行われた。

問9 空欄(6)の成立過程において中心となったフランス外相を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ケロッグ
- b クレマンソー
- c シューマン
- d タレーラン
- e ブリアン

問10 空欄(7)によって「国際連合の主要な司法機関」(第92条)とされるものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a WTO
- b 国際海洋法裁判所
- c 国際刑事裁判所
- d 国際司法裁判所
- e 常設仲裁裁判所

問11 空欄(8)の現在の構成国ではないものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 英国
- b 中華民国
- c フランス
- d 米国
- e ロシア

問12 空欄(9)の人物の説明として適切でないものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 温室効果ガス削減に関する京都議定書の不支持を表明した。
- b 共和党候補として大統領選に二度勝利した。
- c 戦略防衛構想(いわゆるスター＝ウォーズ構想)を表明した。
- d その行動には単独行動主義という批判も少なくない。
- e 包括的核実験禁止条約(CTBT)の不支持を表明した。

問13 空欄(9)の人物が同時多発テロ事件の首謀者とするビン＝ラーディンの出身地を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a アフガニスタン b サウジアラビア c シリア
d パキスタン e リビア

問14 空欄(9)の人物の父親である第41代米国大統領が行ったものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a グレナダ侵攻 b スエズ戦争 c ニューディール政策
d パナマ侵攻 e 米中国交正常化

問15 空欄(10)によって崩壊した政権を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a サンディニスタ政権 b ターリバーン政権 c バティスタ政権
d フセイン政権 e マルコス政権

問16 空欄(10)の大義名分とされたものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 左翼ゲリラの撲滅 b 石油権益の確保 c 大量破壊兵器の脅威
d 麻薬組織の撲滅 e 領土回復

